

1. 事業説明シート

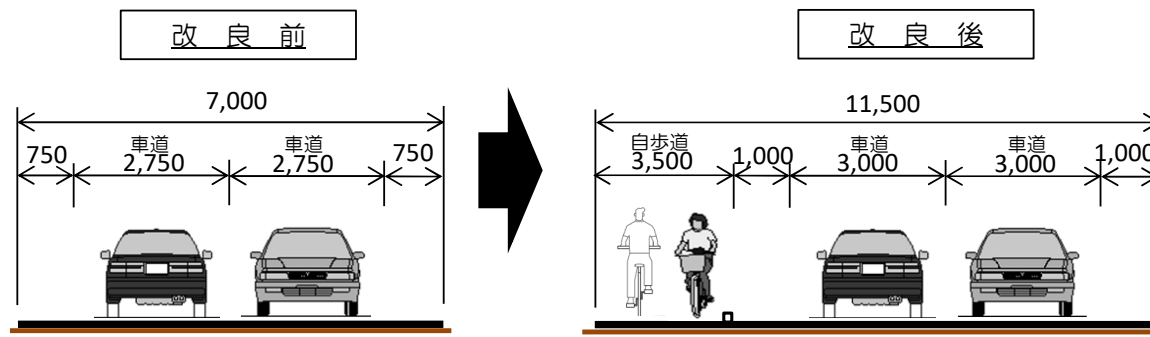
事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]	事業箇所	南都留郡富士河口湖町大石	地区名	(主) 河口湖精進線 (扇崎トンネル~新寺崎トンネル)	事業主体	山梨県																								
<p>(1) 事業の概要</p> <p>①課題・背景 主要地方道河口湖精進線は、山梨県南都留郡富士河口湖町河口を起点とし、同町精進に至る延長約16kmの幹線道路であり、一般国道137号、139号の代替機能及び第二次緊急輸送道路としての役割を担うなど、大規模災害時の救援ルートとして重要な路線である。 当該箇所は、近年、河口湖畔を自転車で周遊する観光客の増加により自転車や歩行者の通行に危険が及んでいることから、通行の安全確保向上のため、早急な整備が必要である。</p> <p>②整備目標・効果 □主要目標 ○歩行者等の安全性の確保 ・歩行者・自転車通行量：632人台(R3センサス) >80人台/12h以上 ※ ・自動車交通量：3,897台(R3センサス) >3,340台/12h(平日)以上 ※ ・通学路の指定：指定なし ・現況の歩道幅員：歩道なし<1.4m未満 ※ ※評価基準値</p> <p>□副次目標 -</p> <p>□副次効果 ○緊急時の避難・救助機能の確保 (緊急輸送路の整備、避難路の確保)</p>				<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>・地域の生活道路であるとともに、幹線道路であり、第二次緊急輸送道路にも指定されており、社会的受益は大きく極めて公共性が高い。</p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>・県道の改築であり、道路法第15条により、県が行うべき事業である。</p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>歩道設置事業のため、不算出。</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>・前後区間は歩道が整備されており、当該箇所の整備により、歩道の連続性が確保されることから事業規模は妥当である。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>・現道敷地を有効利用することで周辺への影響をなるべく小さくするとともに、経済性に優れた最も妥当な計画とした。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>・国立公園内であるため、大規模な地形改変を生じさせないよう、自然環境や景観に十分配慮した計画とする。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>・地元より早期事業着手の要望を受けている。</p>																											
<p>(2) 整備内容</p> <p>①整備内容 道路改良 L=614m、W=6.0 (11.5) m</p> <p>②着手年度 令和7年度 ③完成見込年度 令和15年度</p> <p>④総事業費 約730百万円 (国費405百万円(5.55/10) 県費325百万円(4.45/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table border="1"> <tr> <td>令和7年度</td> <td>測量・設計</td> <td>30</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>令和8~9年度</td> <td>用地補償</td> <td>150</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>令和11~14年度</td> <td>道路改良工事</td> <td>540</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>令和15年度</td> <td>道路台帳作成</td> <td>10</td> <td>百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費</p> <table border="1"> <tr> <td>大石工区</td> <td>歩道設置L=620m W=6.0(10.0)m・H21~H30・C=約7億円</td> </tr> <tr> <td>大石工区</td> <td>歩道</td> </tr> <tr> <td>扇崎工区</td> <td>道路改良L=500m W=6.0(11.0)m・H22~R9・C=約13億円</td> </tr> <tr> <td>桑崎工区</td> <td>歩道</td> </tr> </table>				令和7年度	測量・設計	30	百万円	令和8~9年度	用地補償	150	百万円	令和11~14年度	道路改良工事	540	百万円	令和15年度	道路台帳作成	10	百万円	大石工区	歩道設置L=620m W=6.0(10.0)m・H21~H30・C=約7億円	大石工区	歩道	扇崎工区	道路改良L=500m W=6.0(11.0)m・H22~R9・C=約13億円	桑崎工区	歩道	<p>総合評価 [貢献度ランク: b]</p> <p>(4) 事業位置図等</p> <p>凡例 今回事業箇所 (Red line) 整備中箇所 (Blue line) 整備済箇所 (Black line)</p>			
令和7年度	測量・設計	30	百万円																												
令和8~9年度	用地補償	150	百万円																												
令和11~14年度	道路改良工事	540	百万円																												
令和15年度	道路台帳作成	10	百万円																												
大石工区	歩道設置L=620m W=6.0(10.0)m・H21~H30・C=約7億円																														
大石工区	歩道																														
扇崎工区	道路改良L=500m W=6.0(11.0)m・H22~R9・C=約13億円																														
桑崎工区	歩道																														

2. 添付資料シート

【平面図】



【標準横断面図】



【写真①】



起点側の状況
(自転車交通量が多く、危険な状況)

【写真②】



終点側の状況
(自転車交通量が多く、危険な状況)